

贊天地之化育

2019. 4. 9

ご入学おめでとうございます。本校での高校生活の中で、それぞれの生徒が最大限の力を蓄えて、将来に向かい大きく飛躍してくれることを願っております。表題の「贊天地之化育」は校是の一つで、「てんちのかいくをたすく」と読みます。「天地が万物を生成発育させる働きを賛助・促進する」という意味です。本校での高校生活が、生徒自身を生成発育させる助けとなるよう、職員一同でバックアップいたします。

【入試制度改革の時代】

「平成」から「令和」へと時代が変化するのと時を同じくして、1990年から続く「大学入試センター試験」も今年度で終了し、2021年入試から「大学入学共通テスト」が導入されます。

<新テストの3つの特徴>

①深い思考力が求められる

新しい出題傾向も加わり、すべての教科において思考力・判断力・表現力をより重視した問題が出題されます。

②記述式問題が導入される

特に国語と数学では、これまでのマークシート式問題に加えて記述式問題が導入されます。

③民間の英語4技能検定試験の活用、「話す」が問われる

民間の英語4技能検定試験を活用することで、「書く」「話す」も問われます。

※注意点：今まで通りの「知識」があった上での特徴です。新しいことだけではダメです。

<多面的・総合的な評価の2つの動き>

①国立大は30%を目標に学校推薦型選抜・総合型選抜(旧AO)入試を拡大

ここ数年、東京大、京都大、大阪大などの難関大でも推薦・AO入試が導入され、拡大が進んでいます。国立大は今後、その動きをさらに強めることが予想されています。

②一般入試でも「主体的に学ぶ態度」が評価される

筆記試験が主体であった一般入試でも、調査書や志望理由書・面接などが重視されるようになります。背景には、生徒の「主体的に学ぶ態度」をより評価しようとする動きがあり、活動履歴を蓄積していくこと(ポートフォリオの活用や成果物の提出)が求められています。

【進路実現に向けての基本方針】

①10年後・15年後の自分を描こう

高校生活はわずか3年間です。3年後の大学進学を目指しているはずですが、そこがゴールではありません。その後の人生の方がずっと長いのです。先を見据えて各自の進路を考え、将来の理想の姿を手に入れてください。

②欲張ってやってみよう

学生なので勉強するのは当たり前。自分がやりたい部活動ができるのも、一高の特徴です。だから部活動も一所懸命に取り組む。当然、自分自身の進路実現に向けて全力で取り組んでくれると信じています。とにかく欲張ってやってみてください。不安になってしまったり、立ち止まってしまうしたら教員の出番です。早めに何でも相談してください。

③整理整頓・清掃をしっかりしよう

学校は自分の家と同じくらい多くの時間を過ごす所で、自分の部屋と一緒にです。きれいに使って当然です。整理整頓された学習環境を作ることで、成績も上昇します。本日家に帰ったら身の回りをもう一度確認してみてください。

【保護者の皆様へ】

この度は、ご入学おめでとうございます。これから生徒たちは、期待と不安を抱えて新しい生活をスタートさせます。学校一丸となって精一杯バックアップいたします。ご家庭におかれましても、時に温かく、時に厳しくご指導いただきますようお願いいたします。

まずは高校生活に慣れるための4点固定（起床時刻・帰宅時刻・家庭学習開始時刻・就寝時刻）のリズム作りにご協力ください。生活のリズムを整え、学習習慣を定着させることで、進路実現に向けての土台ができあがります。

また入学したばかりですが、卒業後の進路目標をともに考えてください。保護者向けの進路研修会を5月30日（木）午後に計画していますので、ぜひご参加ください。進路学習の根幹は「自分は何者で、どのようなことに興味・関心があり、どのようなことに喜びを見だし、何を学び、どんな仕事に就きたいのか」ということを、様々な情報を集め、多くの本を読み、たくさんの刺激を受け、自分自身と深く自問自答しながら考え、深めていく過程であり、その延長線上にこそ進路実現があるはずですが、その道を進むのはもちろん生徒本人であります。保護者の皆様には「こどもの最大の支援者」として、粘り強く温かいご指導・ご助言を頂ければ幸いです。